

# フリスターな僧侶たち



特集:

## フリスターの「中の人」

# 46

# 特集

# フリスタの

# 「中の人」

「フリスタスタイルな僧侶たち」と聞くと、「チャラい僧侶？」とか「どこまで自由なお坊さんなの？」とか、色々想像されるだろうと思います。だけど、そういう意味ではなくて。

端的に言えば、一つには、「思い込みから、自由に」という意味が「フリスタスタイル」という言葉のセレクトに込められています。

僧侶と出会う機会は、たまの法事やお葬式の時とか、お寺の拝観に行ったときに見かけるぐらいで、

「なんだか偉い人」という印象があります。

テレビなどのメディアに取り上げられるときも、多くは「厳しい修行をしている立派な人」か、逆にニュースで問題になる「生臭坊主」か。なので「僧侶」と聞くと、こうしたイメージを抱かれるのでは。

このような読者の方の「思い込み」をスラすことを、小誌では試みてきたと振り返っています。

例えば、「ふつうのお坊さんの生臭」「お坊さんの恋愛事情」など、謎に包まれた僧侶のリアルな生臭を等身大で描写したり。

尼僧アイドル「愛\$菩薩」など、「僧侶×○○」という意外な活動をしている方を取り上げたり。

とはいえ私たち自身も、フリーマガジンを編集したり、イベントを実施したりと、活動はそれこそ「フリスタスタイル」。

僧侶の私たちも、「僧侶の仕事は、これ」というように「思い込み」に縛られがちだけど、

そこから自由になって、仏教が身近なものとなる「ぎっかけ」になりたい、仏教の未来に挑戦したい。

そんな思いで活動してきました。もちろん、本質は大切に守りながら。

これが、フリスタスタイルな僧侶たちの団体としての活動理由。

じゃあ、この活動に携わっている「フリスタ」メンバーの一人ひとりほどのような思いで関わっているのか。

フリスタの「中の人」にインタビューしてみました。一挙に紹介します。

フリスタスタイルな僧侶たち代表・編集長 若林唯人



梅本龍青さん

フリーマガジン編集部  
 デザイン担当は、日蓮宗の僧侶・梅本龍青さん。細部にまでわたって行き届いたレイアウトで、フリスタにとつてなくてはならない存在。前号までの空気感を残しつつも、自身の成長やその時の心持ちに従って毎号少しずつ変化も加えていて、編集段階で発見するのが個人的な楽しみに。  
 「前号からの自分の変化を楽しみながらデザインしていますね。連載とか編集後記とか、変えなくていいところも変えちゃう(笑)それは技術的な向上も理由の一つなんですけど、やっぱり、前号をデザインした自分は、今の自分とは違うんです。2カ月という短い間でさえも、思っている以上に自分は変化しています。『確定した存在はない』諸行無常』やなあと、デザインしながら痛感しています」



光澤裕顕さん

「心持ちも当然変化しています。前は仏教のモチーフをそのまま使ってたんですが、『それ、どうなん?』って、最近。形が仏教的、つていうのはキャッチーで万人受けするかもしれないけど、所詮『ウケる』だけで。結果、『形』にとらわれてしまったものしか伝えられないと思っっています。そもそも『諸行無常』同じ人はいない』以上、万人に伝わるなんて、妄想ではないんですけどね」と語る通り、熱い男。ちなみに愛犬は、フレンチブルドッグの「ブーシャン」。この愛称を初めて聞いたとき、梅本さんのキャラとのギャップに萌えました。

マンガ担当は、真宗大谷派の僧侶・光澤裕顕さん。他にはない、どこかクレイジーな画風が持ち味の、お坊さん漫画家。平日は宗派の別院でお仕事をしているため、マンガの制作時間は取れても一日1〜2時間ほど。それでも描き続けるのは、「描きたいからです」。

なぜ仏教なのかは、お寺生だから、という理由ではなく、「二人の人間として、仏教に引かかるもの」を感じたから。  
 「引かかるもの、は人によつて違いますけど、仏教にはそのフックがたくさんあって、その人が自分の中に落とし込んで、その人なりのカタチで現れてくるじゃないですか。それが僕にとつてはマンガなんです。僕は人が表現した仏教をもっと見てみたいです、一緒に仏教を表現したいし、みんなでもっともつと仏教を探求したい。その瞬間に立ち会える場が『フリスタ』なのかなと思つて関わらせていただいています」

レイダースの服も着こなす中性的な光澤さん。「今回の服は、女物ですよな?」と松尾伴内のファッションチェックをする明石家さんまの、定番の絡みを知っている方なら、「兼用です」という声で脳内再生されるはず(関西ローカルのネタですみません)。

編集長も僧侶、デザインも僧侶、マンガも僧侶のフリスタ編集部。だけど編集スタッフの全員が僧侶というわけではなく、「非僧侶」もいて、それがすごく大きい。

以前「フリースタイルな僧侶たち」が深夜番組に取り上げられたとき、その番組を見た友人から「面白いお坊さんたちがいるよ」と聞いたのをきっかけに、関わるようになった飯村絵理子さん。「お寺業界の事情もタブーも分からぬ非僧侶の特権をフル活用して、言いたい放題。お坊さんたちをちょっと困らせるのが私のポジション」と話す通り、ほんと、「また無茶や……」と思つてしまう提案をしてくれるのだけど、それが良い。ちなみに今号の表紙写真も飯村さん案です。

編集の第一段階は企画選定。月1回のミーティングで、だいたい2号先までの特集内容や、表紙のアイデアを話し合います。「そのとき、お坊さんが『えっ……』となる視点を提示できるのが大切。私はメンバーの中で、読者に最も近いから」。原稿があがってくると、校正作業。より伝わりやすい構成の提案や、誤字脱字のチェックをします。そこで重要なのが、僧侶特有の用語を指摘してくれること。業界にとつぱり浸った僧侶脳にツッコミを入れてくれるのです。そしてこれまた重要なのが、誰もが一度見ずるようなタイトル付け。内容と合致しながらもインパクトある言葉を、編集長の私と悩みながら見つけ出してくれます。



飯村絵理子さん



飯野顕志さん

「総じて大切なのは、最初の非僧侶読者として、仏教をいかに面白がれるか。それに尽きるかな」。

「仏教を深く」は僧侶の担当だけれど、「仏教を分かりやすく、面白く」が飯村さんの担当。これがチームで編集するからこそ良さだなど。飯村さんの普段のお仕事は、歌舞伎や文楽の同時解説・イヤホンガイドの解説者。僧侶の私の悩み相談にも乗ってくれる、心の支え。母。

### フリスタ主催イベント部

「アラサー僧侶とゆるーく話す会」は、4年ほど前に初開催。フリーマガジンを手に取った方が、仏教って面白いかも思っただとき、お坊さんに聞いてほしい悩み事ができたとき、お坊さんの話を聞いてみたいと思っただとき、フラーリと立ち寄って、

くつろいで話せる。お坊さんと気楽に話すことができるカジュアルな場として開いてきました。

黄檗宗の僧侶・飯野顕志さんは、1年半ほど前、このイベントに参加者として来てくれたことが、フリスタと関わるきっかけに。以来、アラサー僧侶の一人として、主催の僧侶側に回ってくれるようになりました。

「今はインターネットでのやり取りもできますけど、直接顔を合わせることでお互いに伝えられることもあります。参加してくださる方にとっても、迎えるアラサー僧侶にとっても、貴重な場になっていると思います。開催のたびに試行錯誤していますが、楽しみに参加してくださる方のためにも、この場を大切にしていきたいです」

真面目。やさしい。ちょっとおかしな手の動き。そんな飯野



竹林真悟さん

さんは、身長186センチながら、フリスタの妖精的ポジション。今号発行直前の3月末に、京都大学大学院を修了。修士論文の中心テーマが、なんとこの「アラサー僧侶とゆるーく話す会」でした。

そしてもう一つの主催イベントは、「ハナ唄聲明」。初開催はおよそ1年前で、正式名称は「ハナ唄になるまでが理想の聲明講座」。「そもそも、聲明って何？」という方のために少しだけ説明すると、今から1800年ほど前、中国魚山というところで、天人がメロディーに乗せてお経を唱える声が聞こえてきた。それが聲明の始まりだと伝わっています。つまり、通常の棒読みする読経と違って、聲明はお経を歌のように唄うもの。およそ1200年前に日本に伝わり、聲明の他にも「梵唄」や「唄」、「魚山」

と呼ばれることも。その後、各宗派で独自に進化。宗派によっては、唱えるのに資格が必要だったりします。

この講座は、フリスタを通して知り合った一般の方の要望に応える形で、浄土真宗本願寺派の僧侶・竹林真悟さんが担当してスタート。

「世の中には車のディーラー、保険屋さん、化粧品売場の女性、ありとあらゆる専門家がいて、僧侶もある意味専門家。そう考えると、聲明を唱えたり、仏教的知識があることは特別なことじゃない。一人でも多くの人に、聲明やお経の意味や仏教的なことを知ってもらいたいね。電車待ちの時間や自転車で颯爽と街中を走ってる最中に、聲明がハナ唄になって出てくればいいなあ」

右中段の写真をご覧あれ。以前から「趣味、ガンダム」とは聞いていたけど、ここまでの



加賀俊裕さん

ガンダム愛とは……。初潜入の屋根裏部屋での一枚。

これまでのフリスタのイベントの特徴は、隔月発行のフリーマガジンの周期に合わせて、「コンスタントに」「コンパクトに」やってきたこと。なぜなら、一度だけ坐禅をして、そのときに心が整ったとしても、それが習慣にならなければ結局は変わらない。また元の心の癖の状態に戻ってしまいます。だからこそ、コンスタントに。そして、一対多の一方通行で終わるのではなく、僧侶がご参加いただいた一人ひとりに丁寧に対応できるように、コンパクトに。この2点を心がけてイベントを行ってきました。

ところが、昨年末。参加者100名を数えるフリスタとしては「コンパクトではない」イベント「愛\$菩薩と声明衆の一座法要」を開催。広く、仏教を

身近に感じていただく場を開くことも、やっぱり大切だと痛感しました。

このイベントを取り仕切ってくれたのは、真言宗御室派の僧侶・加賀俊裕さん。今年も同様の大きなイベントを企画検討してくれています。

「昔の人にとって、お寺、特に遠方の大きなお寺に行くのはちょっとした旅行だったみたいですね。だから参詣の前日は、伽藍と仏さまはどんなんやろ？とか、僧侶の法話や声明は？落語とか雅楽もやってくるかも、緑日や商店では何を買いおつか、とか、お寺を中心に繰り広げられるエンターテイメントを想像して心弾ませてたと思うんですよ」

「今でこそ、交通機関が発達して気軽にお寺に行けるようになりましてけど、同時にお寺で心躍る機会も少なくなってるんじゃないかなと思って。だからフリスタで、前の日の晩ワクワクして眠れないくらいの仏教イベントができたらいいなと思うんですよ。仏教初心者もすでに親しんでる方も、期待感たっぷりにお寺を訪れて悦に入る時間を過ごせて、終わりに少しスッキリしてる。帰路に着く頃には、心に刷り込まれた仏教の旨味が忘れられず次回のイベントを待ち焦がれる。ハードル上げましたがそんなイ

ベントを今後もフリスタでやりたいですね」

大阪の道頓堀から徒歩1分、御堂筋沿いにあるお城のようなお寺が、加賀さんの自坊・三津寺。ザ・大阪人。写真に注目。スタバのカップで顎のラインを隠してるらしいです。

#### 四国支部と東京支部

フリスタは京都に拠点を置いているけど、四国と東京でも、支部として一緒に活動しているメンバーがいます。

四国では、主に「フリスタ四国版」というローカルな情報を掲載したフリスタ「瓦版」の発行と、各種仏教イベントを開催。主要メンバーは、代表の浄土宗の僧侶・財津宏経さん、曹洞宗の僧侶で頼れるムードメーカー・高木一晃さん、浄土宗の僧侶で四国版デザイン担当・高雄修宏さん、フォークボーカーデュオ「キッサコ」としても活動中の臨済宗妙心寺派の僧侶・薬師寺寛邦さん、そして仏壇・仏具店「田中仏光堂」の田中祐大さんの5人。

「京都や東京と違うのは、やっぱり地方であることなんです。地域に根ざした記事の作成もですし、地元の人々の繋がりの場になるような企画を意識しています。まだまだ紙媒体の強さが活きるのには地方ならではの

な、と。四国にはお遍路文化が

根本にあるので、基本的には仏教やお寺に親しみがある土地なんです。興味のある方も多いです。そういった方々と仏教やお寺をつなぐ存在になりたいですね」

「これまでの仏教とまったく違うことをやろうというわけではなくて。四国八十八箇所のお寺と、お遍路さんを中心に紡いできた歴史と伝統を踏まえた上で、新しく創造できる何かがあるのでは？というのを模索していきたい。時代や国、地域によって、本質は失わずに柔軟に形を変えるのが仏教の素晴らしさ。四国には四国のあるべき仏教の姿があるはず。今も、そしてこれからも、求め続けていきたいですね」

と、むちゃくちゃ良いことを言う財津さん。ちなみにデートは「動物園」に行くそうです。

東京は、この4月から、代表が交代。浄土真宗本願寺派の増田将之さんから、曹洞宗の久松彰彦さんにバトンタッチしました。

フリスタ草創期から関わっている増田さんは、仏教伝道協会にお勤めで、本場に多くの僧侶の方とお知り合い。一時はフリーマガジンを1500部も配布してくれたり、東京をはじめ、全国の僧侶の方々とのパイ

プ役となって、ずっとフリスタを支えてもらっています。「仏教井戸端トーク」というイベントを主催するなどエネルギーシユ。話していると元気をもらえる方です。ちなみにメールで使う顔文字は「(o\_o)」の1つだけ。

東京の新代表・久松さんは、六本木にあるお寺の副住職。お寺から六本木ヒルズが見えるとのこと。

「増田さんの後を託されるのは荷が重いなと感じるんですけど、自分にできることをやっていきたいですね。東京はイベントもたくさんあって、坐禅会や写経会、トークイベント、少し硬派な講演会まで、色々な催しが連日行われていて。ただイベントは実際に足を運ばなくてはならないし、時間のない人には届かないという欠点もありますよね。一方で、インターネット上の仏教の記事もどんどんと充溢してきて。これも色々な人や媒体で発信されていて、なかなか自分に合ったものにアクセスするのは難しいようにも思っています。この風通しが良くなれば、スマホをいじっている時間でも仏教に親しめる。そんな、ポータブルな仏教を作っていければと思っています」

私が代表になってからは、特にフリーマガジンの制作にエネ



写真左／東京支部。左から福山智昭さん、久松彰彦さん、増田将之さん。写真右／四国支部。左から田中祐大さん、高雄修宏さん、高木一晃さん、財津宏経さん、薬師寺寛邦さん

ルギーを割き過ぎ、ウェブは手薄のままでした。心強い。

そして、新たに東京メンバーに加わった浄土真宗本願寺派の僧侶・福山智昭さん。昨年10月まで京都にいたけど、神奈川県のお寺に役僧として勤めることになり、東京でフリスタの活動に関わってくれることになりました。

さまざまな形のご協力

これまでは、編集・イベント・各支部の「中の人」を紹介してきましたが、他にもお手伝いいただいている方がいます。

神山美佳さんは、京都の富小路四条にある和食店「京味処そわか」をご主人とともに営んでいて、主にフリーマガジンの配布に協力してもらっています。新しい号が出るたび、ママチャリに乗って200部取りにいらっしゃるのですが、そのときの笑顔に毎度癒されています。

山田大さんは、飯村絵理子さんとご夫婦で（「飯村」は旧姓なのです）、趣味で長唄もされている方。「長唄もそうだけど、古き良きもの、じゃなくて、今も昔も変わらない良さが仏教の魅力」という言葉がすごく印象に残っています。飯村さんと同じく「非僧侶」の視点から色々なアドバイスをしてく



右上／神山美佳さん  
右下／山田 大さん  
左上／大西央晃さん  
左下／脇屋早希子さん

れたり、フリーマガジンの発送作業でお世話になったり、ミーティングの場を和ませていただいたり。

大西央晃さんも「非僧侶」でサラリーマンだけど、自称「仏教オタク」。話し出すと熱くなって、つい長くなりがちなどころはご愛嬌。以前、「仏教の中級編にナビゲートしてほしいんですよ」と話してくれたことに、グッときました。

脇屋早希子さんは、一番最近お手伝いしてくれるようになった、真宗興正派のお寺生まれの会社員。「お寺の生まれだけど、仏教についてあまり知らないのは、もったいないことだなと感じるようになって」スタッフとして関わってくださるようになり。前号からフリーマガジンのコーナー「しりとりに法話バトル」の審査員をしてもらっています。

私がフリスタに関わるようになって5年と少し。フリスタを立ち上げた浄土宗の僧侶・池口龍法さんに代わり、代表になつてちょうど2年が経ちました。今回紹介しきれなかった「中の人」もいるし、今はフリスタから離れてしまっただけど、これまでさまざまな形でフリスタに関わってきてくれた方

が、それこそたくさんいます。東京メンバーの福山さんが、「これまで繋いできてくださった方のご苦労があつて、こうやって関わらせていただいているんだなあと思って。素直に嬉しいですね」と話していたことに、しみじみと感じ入っています。

そんな「中の人」たちで力を合わせながら、仏教が身近な存在となるきっかけになれば、という思いでフリスタは活動しているけど、なぜ仏教を知ってほしいのか。

仏教のテーマは「苦」。世の中に、苦しみや悩みを抱えていない人はいない、と經典には説かれています。苦しみや悩みの原因は何か。いかにすれば軽くなるか、無くなるのか。いかに生きるべきか。それを教えてくれるのが仏教。良い映画や良い音楽に出会うと、誰かに伝えたくなる。それと同じような気持ちで、仏教を生きる良さを発信しています。

最後に、お知らせです。次号のフリーマガジンから、リニューアルしてお届けします。準備期間として6月号は休刊し、次号の発行は夏、8月1日を予定しています。新「フリースタイルな僧侶たち」を、どうぞお楽しみに！（詳細は11ページをご覧ください）

# お坊さん 日和。

24話

“気がつけば  
遠くまで来たもんだ...”  
まんか  
みっせわひろあき



みっせわ・ひろあき / 真宗大谷派覚法寺衆徒。仏教と漫画の融合を目指している。コピーと示談はマック派。 <http://cartoonmonk.com> Twitter▷みっせわひろあき (@Mituako28)

きつと... つづく

## 仏教伝道協会・フリースタイルな僧侶たち主催イベント

### 仏教ヨガ講座 毎月第1水曜日



Let's Begin ヨガ Life! 初めての方にも分かりやすく丁寧な指導で、仏教とヨガの側面から穏やかで健康な生活を提案します。

午後7時～午後8時30分 参加費/毎月500円  
定員/40名(男女不問) 持物/着替え  
会場/仏教伝道センタービル8階 講師/Yuuka  
(ガッソ有香) =浄土宗教師・山形県誓願寺

### 働く人のための坐禅会 毎月第3火曜日



ストレスを溜め込んでしまって、心に余裕を持つことができない方々に、心や頭の整理をしていただく場を用意しております。

午後8時～午後9時20分 参加費/毎月500円  
定員/30名(男女不問)  
会場/仏教伝道センタービル7階  
講師/阿 純章=天台宗・圓融寺住職

### 仏教を初歩英語で学ぶ会 (3級コース・全10回)



2017年4月～2018年2月の第3月曜日、または第4月曜日・全10回にわたり開講します。皆さんのご参加をお待ちしています。

午後6時30分～午後8時 参加費/5000円(10回分・一括) 定員/80名  
会場/仏教伝道センタービル8階  
講師/ケネス・田中、ケアリー・田中

お申し込み先/ (公財) 仏教伝道協会

E-mail: [bdk@bdk.or.jp](mailto:bdk@bdk.or.jp) Web: <http://www.bdk.or.jp>

Facebook: @bukkyodendokyokai

問い合わせ: 03-3455-5851 〒108-0014 東京都港区芝4-3-14



公益財団法人

仏教伝道協会

BUKKYO DENDO KYOKAI



### アラサー僧侶とゆるーく話す会

2017年4月30日・6月25日

〔京都〕

アラサーの僧侶数名とフラットに話をする、ゆるーい会。仕事・恋愛・家庭のことなど普段の生活の中でモヤモヤしていることや、とにかく誰かに聞いてほしいことなど、何でもお話しください。お坊さんと話してみたいという方や、お坊さんの生態や仏教の考え方に興味のある方、ただただまったりと時間を過ごしたい方も歓迎です。京都のお寺で心を落ち着かせて、お坊さんと一緒に考えてみませんか？

午後2時～午後4時30分 参加費/1000円(フリスタ会員800円) 定員/10名 会場/明覚寺(京都市下京区平野町781) 新町七条200m上ル東側・JR京都駅より徒歩10分 申込/<http://www.freemonk.net/events>  
問い合わせ/[info@freemonk.net](mailto:info@freemonk.net)



### ハナ唄になるまでが理想の聲明講座

2017年6月4日

〔京都〕

私たちの身の回りにあふれる音楽のルーツは宗教音楽にあります。西洋音楽なら讃美歌が有名ですが、日本の能や狂言は念仏踊りや聲明(唄うお経)がルーツだそう。そんな日本に伝来して1200年の聲明が、あなたの“ハナ”からメロディにのって出てくるまでが理想の超ビギナー向け講座です。浄土真宗僧侶が講師を担当します。お寺で声を出すことに興味がある方はお気軽にお越しください。

午後3時～午後5時30分 参加費/1000円(フリスタ会員800円) 定員/20名 持物/筆記用具 会場/一念寺(京都市下京区東中筋通花屋町下ル柳町324) 講師/山田真悟 申込/<http://www.freemonk.net/events>  
問い合わせ/[info@freemonk.net](mailto:info@freemonk.net)



## PICKUP EVENTS

お釈迦さまっ! ハピバだお♥



### お釈迦さま's B.D. FLOWER FESTIVAL!!

2017年4月8日  
〔東京〕

花まつりの日に、お笑いタレントの小藪千豊さんが企画・開催する、お釈迦さまのバースデーパーティー。出演者はすべてシークレットで、ファッションショーなどを含めたクラブコンテンツとなっています。4月8日はお釈迦さまの誕生日っ! 朝までクラブでお祝いしよう! クリスマス、バレンタイン、ハロウィンよりも盛り上がりよう! お昼はちゃんとお寺に行こう! レッツ中道! Say一切皆苦!!

午後10時～ 参加費/男性=4000円、女性=2500円(当日券のみ)  
会場/SOUND MUSEUM VISION(東京都渋谷区道玄坂2-10-7 新大塚ビルB1F) 詳細/<http://www.vision-tokyo.com>

\*本公演では20歳未満の方のご入場は一切お断りさせていただきます。年齢確認のため、ご入場の際にすべての方にIDチェックを実施しておりますので、写真付き身分証明書をお持ちください。

日本文化を体験できる寺社フェス



### 向源 2017 ～かわりたい～

2017年5月6日・7日  
〔東京・神奈川〕

寺社フェス「向源」は、宗派や宗教を超えて、神道や仏教などを含めたさまざまな日本の伝統文化を体験できるイベントです。7年目を迎える今年のテーマは「かわりたい」。向源自身も変化を遂げ、今年は年2回開催となります(5月は東京と神奈川で開催、10月は京都で開催予定)。時を経て、なお日本の暮らしと文化の根底に息づく「源」に触れ、自分自身の「源」に「向」き合う場をつくります。

[5月6日] 中目黒 正覚寺(声明公演/トークショー/死の体験旅行など)  
[5月7日] 本門寺(唱題行・修行体験)、増上寺(お念仏と礼拝・修行体験)、川崎大師(護摩修行見学と彩色仏画)、總持寺(坐禅・修行体験)  
\*京都は2017年10月開催予定(会場予定寺院:勝林院・実光院・宝泉院)  
チケット購入や参加方法、各日程のタイムテーブル、イベントの詳細は下記ウェブサイトをご覧ください  
詳細/<http://kohgen.org> 問い合わせ/[info@kohgen.org](mailto:info@kohgen.org) (担当・横川)

## 未来へのアイデアはいつも井戸端から

### 仏教井戸端トーク 「お題法話」 仏教用語禁止編

2017年4月20日  
〔東京〕

仏教井戸端トークの人気企画「お題法話」。皆さんから頂戴した単語を使って法話をするというもの。今回はそこに「仏教関連用語は使わないこと」という制約がつきます。どのような会になるか、当日まで誰もわかりません。今回は青江覚峰師、浦上哲也師、西原龍哉師、平井裕善師の4人の浄土真宗のお坊さんにご登壇いただきます。そして、最先端技術のマシーンも使用するかもしれません。お楽しみに!

午後7時～ 参加費/1000円 会場/緑泉寺(東京都台東区西浅草1-8-5)  
登壇者/青江覚峰、浦上哲也、西原龍哉、平井裕善  
申込/<http://tokyotrad.com/idobata/events/odai3>  
問い合わせ/bukkyo.idobata@gmail.com



# しりとり 法話バトル

## 「採点」

正直、もやもやしてました。  
採点することに。

生きていると、私という人間にさまざまな数字がつけられることがあります。学校のテストや仕事、私が打ち込んだストリートダンスの世界でもそうでした。点数や成績と呼ばれるそれは、いつしか私自身の価値を表すものに思えてきて、なんとか良い点数を、良い成績をと、数字を伸ばすことに必死になってしまっています。

しかし、中国の古い禅僧はこう言います。「月を指す指ではなく月そのものを見なさい」と。付けられる点数や成績ばかりに気を取られ、周囲を顧みずに追い求めても、そこに見えるのは月ではなく、それを指す「指」なのではないでしょうか？

今号の勝者はこちら！

**西田稔光** (にしだ・ねんこう)

曹洞宗明林寺徒弟。栃木県足利市出身のAB型。お寺の息子にありがちなHIPHOPカルチャーを愛する25歳。手の届く範囲を笑顔にできるお坊さんを目指します。今年こそ腹筋を割ります。

## 編集後記

苦笑いなのに、こんなに爆笑したのは初めてかも。

「わかばーのこと、特集記事に書いてないじゃん」ということで、「編集長の印象」を飯村さんに聞いてみた。

「いやもう、いま僕ダメなんですわ」が口癖／相談の達人（するほう）。メンタルのバイオリズムが下降気味だと、すれ違う人すれ違う人全員つかまえて相談する／妥協を許さない／人に任せられない／得意技は背負い込み（負担増）／かわいいおなごで元気充電／どこにいても、突然体を横たえて寝る／猫が恋人  
……思い当たる節しかない（笑）

ご支援を元に活動させていただいている以上、サポーターの皆さまの思いに応える責任があるし、読者の方の苦悩に効く仏教

を発信する使命もある。「手に取りたい」「手元に残したい」フリーマガジンになれば、仏教が届き、深く響いて、心が少しでも軽くなる一助となればと、必死だった。いやはや、よく頑張ってきたと思う。

タタタタになったけど、刺激的で楽しい2年間だった。チームの温度も熱くなってきた。このチームと一緒に活動できて良かった。リニューアル以降は、もう少しみんなに頼れる僕になりたい（笑）

フリスタの「中の人」、すれ違いざまにつかまえてしまった方々、家族をはじめ、辛抱強く支えてくださったすべての方に、この場を借りて、心から感謝を伝えたい。こんな面倒くさい代表だけど、これからはどうぞよろしくお願いします。

フリースタイルな僧侶たち代表 若林唯人



恋人です。なんでかな。撮影の間、ずっと不機嫌でした。なんでかな。

# フリースタイルな僧侶たちが、変わります。

8月で8周年を迎える「フリースタイルな僧侶たち」。  
これまで隔月でフリーマガジンを発行してまいりましたが、  
8月からは季刊で発行いたします。(2カ月に1回から、3カ月に1回へ)  
創刊者の池口龍法さんに代わり、2代目の編集長として若林唯人が就いて以来、  
それまでと同じく、仏教に親しむ“きっかけ”となることをまずは意識し、  
コーナーは変えずに踏襲しつつ、それまで以上に、  
より深く仏教をお伝えできればと、微力ながらも力を尽くしてまいりました。  
というのも、今号の特集記事でも少し触れてましたが、この活動を通じて出会った方々から、  
「仏教をより深く知りたい」「仏教の中級編にナビゲートしてほしい」という声が、  
次第に多く聞こえるようになってきたためです。  
「フリースタイルな僧侶たち」だからこそ期待されるライトでキャッチーなニーズに応えつつも、  
同じ時代の空気を吸って生きてきた方たちの「悩みや苦しみに効く仏教の教え」もお伝えする。  
この両者を同時に実現することに、毎号、難しさを感じてきました。  
仏教に期待される、多様な声に応えたい。  
もっと楽しく軽やかな企画から、ややディープな仏教までを、一つの号に盛り込みたい。  
この思いを形にするため、誌面を16ページに増やし、  
その編集作業にかかる時間を考慮して、季刊化にするという結論に達しました。  
これまで以上にパワフルに、独自の視点から仏教を伝える媒体として歩んでまいりますので、  
ご理解ならびに引き続きのご応援をいただけましたら幸いです。  
8月の季刊化第一号に、乞うご期待ください!



\*季刊化の準備期間として6月号はお休みとさせていただきます。

## 応援して下さるサポーターを募集しています

- 新規・継続サポーターには、本誌を毎月お送りいたします。  
(年間4回/2月・5月・8月・11月発行)
- フリースタイルな僧侶たち主催イベントにおいて優待します。
- 法人サポーターの方は、本誌にお名前を掲載いたします。

協賛年会費:5,000円(個人) 30,000円(法人)

会費振込先:  
三井住友銀行 園田支店 (422) 普通 5092943  
フリースタイルな僧侶たち 代表 若林唯人  
お振り込みの際、あらかじめ下記のいずれかにご連絡ください。  
☎050-5583-4330 E-mail:info@freemonk.net  
\*広告も募集しています。詳細は上記までお問い合わせください。

協賛法人サポーターリスト 本誌発行にあたり、ご支援いただいた皆さまに厚く御礼を申し上げます

浄土宗……安心院(八幡市)/安楽寺(南丹市)  
/延命寺(堺市堺区)/吉祥寺(萩市)/九品寺  
(京都市南区)/教安寺(福津市)/慶蔵院(伊  
勢市)/光照院(台東区)/金剛寺(京都市東山  
区)/西明寺(尼崎市)/西楽寺(京都市伏見  
区)/西林寺(大阪府泉南郡)/浄栄寺(東近江  
市)/正覚寺(青森市)/正善寺(伊丹市)/勝  
楽寺(町田市)/真光寺(今治市)/新善光寺  
(札幌市中央区)/崇福寺(甲賀市)/善願寺(甲  
賀市)/善道寺(札幌市豊平区)/臺鏡寺(枚方  
市)/檀王法林寺(京都市左京区)/潮音寺(東  
京都大島町)/長壽院(台東区)/梅窓院(港  
区)/法岸寺(静岡市清水区)/寶松院(港区)  
/法善寺(大阪市中央区)/妙慶院(広島市中  
区)/無量光寺(鳥取市)/龍岸寺(京都市下京  
区)

浄土宗西山禅林寺派……光明院・田中医院(京  
都市中京区)/宝泉寺(津島市)

浄土真宗本願寺派……光栄寺(井原市)/光照  
寺(大阪市東淀川区)/光徳寺(みやま市)/光  
明寺(奈良県吉野郡)/西教寺(生駒市)/西方  
寺(大和郡山市)/西法寺(北九州市)/浄元寺  
(尼崎市)/正源寺(大津市)/正宣寺(大阪市北  
区)/浄満寺(大阪市西成区)/信覚寺(福岡県  
朝倉郡)/崇興寺(福山市)/養法寺(金沢市)

真宗大谷派……覚法寺(福岡県八女郡)/称讚  
寺(新潟県長岡市)/正蓮寺(伊豆の国市)/超  
覚寺(広島市中区)/宝皇寺(函館市)

浄土真宗東本願寺派……緑泉寺(台東区)

天台宗……圓融寺(目黒区)/大圓寺(目黒区)  
/本覺寺(横浜市鶴見区)

高野山真言宗……弘法寺(和泉市)/薬師院  
(岸和田市)

真言宗豊山派……寶積寺(松山市)

真言宗御室派……三津寺(大阪市中央区)

臨濟宗妙心寺派……円光寺(台東区)/宜雲寺  
(江東区)/勝林寺(豊島区)/陽岳寺(江東区)  
/龍雲寺(世田谷区)

臨濟宗建長寺派……帰一寺(静岡県賀茂郡)/  
東光禅寺(横浜市金沢区)

曹洞宗……四天王寺(津市)/瑞生寺(浜松市  
中区)/南詢寺(守口市)/鳳仙寺(宮城県亶理  
郡)

日蓮宗……池上實相寺(大田区)/法華寺(亀岡  
市)/妙海寺(勝浦市)/妙見寺(橋本市)

時宗……正法寺(京都市東山区)

単立……五百羅漢寺(目黒区)/瑞聖寺(港区)  
/法然院(京都市左京区)

企業・団体・店舗……一般社団法人日本石材産  
業協会(千代田区)/遠藤新兵衛商店(京都市  
下京区)/学校法人鎮西学園(熊本市中央区)  
/株式会社アールアンドタブリュー(京都市中  
京区)/株式会社アンカレッジ(港区)/株式会  
社カウントウン(京都市中京区)/株式会社京  
美仏像(京都市北区)/株式会社薫寿堂(神戸  
市)/株式会社作島(京都市下京区)/株式会  
社Flucle(大阪市都島区)/京都坊主BAR(京  
都市中京区)/京念珠げにや(京都市下京区)  
/茶坊えにし(台東区)/寺院コム(京都市左  
京区)/翠光堂阪急淡路駅前店(大阪市東淀川  
区)/大正大学(豊島区)/豊田愛山堂(京都市  
東山区)/浜屋株式会社(姫路市)/坊主BAR  
縁(岐阜市)

\*敬称略・五十音順

築90年の京町屋で本格タイ料理

## 佛沙羅館

Tel:075-361-4535

<http://r.gnavi.co.jp/k024400/>

住所:京都府京都市下京区木屋町通松原上ル美濃屋町173-1

## 祇園ギャラリー源右衛門

Tel:075-533-6088

京都市東山区祇園町南側555番地(祇園ホテル1F)

お念珠取り揃えております



## お祈り申し上げます

東北での震災・津波の被害でお亡くなりになられた方の七回忌が過ぎ、昨年発災した熊本地震でお亡くなりになられた方の一周忌を迎えます。謹んで哀悼の意を表し、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

世界に衝撃を与えた大震災に、我々は何ができるのか、を思うとき、人間の想像の及ばない自然に畏怖し無力感に苛まれますが、「因縁」で生じた「果」、また「業」も私たちの責任として受けとっていかねばならない以上、大震災は他人事ではない、関心を向け続け、苦しむ方の「友」となるよう精進して参ります。

この世からなくしてはいけない、大人の勇気と子どもの笑顔のために。合掌——

フリースタイルな僧侶たち

### 冬用各宗派衣価格(税込)

・布袍化織地	18,800円～	・黒直綴化織地	27,000円～
・改良衣化織地	17,500円～	・白衣テロンウール	9,950円～
・間衣化織地	17,500円～	・白衣高級メガーナ京仕立	16,800円～
・黒衣化織地	30,500円～	・足袋	950円～

法衣・袈裟製造直販

## 丸西宗教織物株式会社

京都市下京区堀川通正面上ル(西本願寺前店)

☎0120-075-024



# 心といのちの電話相談室

# ☎03-3436-6823

相談受付 毎週月曜日・金曜日 10:00～16:00 (祝日、盆、年末年始は休業いたします)

あなたを支えたいと  
願う人がいます。  
つらいお気持ち  
おはなしてください。

### 「心といのちの電話相談室」の特徴

研修を受けたお坊さん、  
お寺の奥さんがお話を伺います

多彩なご相談に対応します

周囲の方もご相談ください

### 「心といのちの電話相談室」の約束

秘密は必ず守ります

勧誘はしません

無料でお受けします

## 「心といのちの電話相談室」事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 公益財団法人 浄土宗ともいき財団 内  
TEL.03-3436-3353 FAX.03-5472-4878 ホームページ <http://tomoiki.jp/>

詳しくは

心といのちの電話相談室

検索

フリースタイルな僧侶たち Vol.46 フリスターの「中の人」

2017年4月1日発行

©フリースタイルな僧侶たち2017 禁無断転載

発行所 フリースタイルな僧侶たち編集部  
〒600-8305 京都府京都市下京区東若松町795-2-C  
☎050-5583-4330 info@freemonk.net

編集長  
若林唯人

編集  
増田将之  
飯村絵理子

デザイン  
梅本龍青

マンガ・イラスト  
光澤裕顔

表紙 撮影:三野龍男

最新のイベント情報はPCサイトでCHECK!

[www.freemonk.net](http://www.freemonk.net)



誌面作成の裏側やイベント風景など  
@freemonk\_official